

第二回、三回公開講座について（ご案内）

本校では、本年度、3回の公開講座を計画しています。

テーマを「気になる子どもたちの心と医療…」とし、第一回目は和歌山大学大学院教育学研究科 教授 武田鉄郎先生による『発達障害のある子どもの二次障害予防を考える—ストレスマネジメントを中心に—』と題した講演を4月25日（月）に実施しました。

第二回、第三回の公開講座について下記の内容で案内させていただきます。お忙しいと存じますが、ぜひ、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

なお、申し込みは8月5日（金）までとなっています。必要事項をご記入の上FAXもしくはメールでお願いします。やむをえない場合は当日参加も可能です。

記

第二回

日 時 平成23年8月10日（水）10時00分～12時00分（受付9時30分～）

会 場 和歌山大学生涯学習教育研究センター

講 演 「医療から診た気になる子どもたちの心」

講 師 和歌山県立医科大学小児科 南 弘一 先生

講演要旨

子どもは、精神的ストレスが容易に身体症状や行動面の問題として表現されやすい。立ちくらみ、ふらつき、頭痛、腹痛、朝起き不良など多彩な症状を認める時もあり、医療機関を受診することも多い。また、明らかな基礎疾患があっても、心身症として経過を見られていることもあり、早期発見が予後に関係するときもある。

子どもたちを取り巻く環境の変化で、医療の立場から、心身症との区別、どのような疾患が潜んでいるのか、また見逃してはいけないサイン（症状）などについてお話しします。

第三回

日 時 平成23年8月10日（水）13時30分～15時30分（受付13時00分～）

会 場 和歌山大学生涯学習教育研究センター

講 演 「気になる子どもの移行期に生じる諸問題を考える

—子どもから大人へ移り変わるときに必要な支援—」

講 師 和歌山大学教育学部 准教授 則定 百合子 先生

講演要旨

発達につまづきを抱えた子どもたちが小学校高学年になり、青年期に突入すると、「自分は他の人と違うのか？」「自分の存在が周りに迷惑をかけているのではないか？」「自分は生きていい存在なのか？」といった、子ども時代とは違う様々な問題と直面することになります。子どもから大人への移行期に生じる、こうした自己受容、存在意義、恋愛、障害の告知などの諸問題と支援の在り方について、議論できればと思っております。